

このたびは、車載用ワイヤレス受信機をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がある、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、販売店などにご連絡ください。



工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



分解／改造はしない

火災の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、販売店などにご連絡ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



定期点検を実施する

専門の業者（技術者）による定期点検を実施してください。特に経年劣化には充分ご注意ください。異常があれば、ただちに使用をやめ販売店などにご連絡ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



運転中に複雑な操作はしない

交通事故やけがの原因となります。



運転の視界や操作を妨げる場所に取り付けない

運転視界を妨げる場所やプレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。



パイプ、タンク、配線などを傷つけない

車体に穴をあけるとパイプ、タンク、配線などに傷を付けると交通事故や火災の原因となります。



決められたヒューズを使う

規定以外のヒューズを使うと、火災の原因となります。



ワイヤレスマイクを危険作業の誘導などに使用しない

場所や距離や周囲の雑音条件によっては電波が到達しなかったり、瞬間的に電波が遮られたりして放送が途切れたりして、作業の指示などが完全には伝達できない場合があります、事故の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



廃棄は専門業者に依頼する

燃やすと化学物質などで目を傷めたり、火災ややけどの原因となります。



高温部に設置しない

エンジンルームや温風吹き出し口のそばに設置すると、ケーブルが溶けて、火災の原因となります。



水のかかるところへ設置しない

雨や水のかかるところへ設置すると、火災の原因となることがあります。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



振動の多い場所や、不安定な場所に設置しない

ゆるみやはずれで落下し、交通事故やけがの原因となることがあります。



取付ねじはしっかり締める

落下して、交通事故やけがの原因となります。



正しく配線する

取扱説明書の通りに配線しないと、事故や火災の原因となります。



オーディオ機器、アンテナなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- ① お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
- ② 本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ③ 本製品のお客様ご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
- ④ 本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

本機を長期間お使いの場合のお願い

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があります。故障したり、事故の原因となることがあります。下記①～③の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。

- ① 煙りが出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。
- ② 本機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ③ 電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

各部の名称と説明(前面)

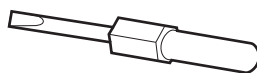
チャンネル設定スイッチ

使用するワイヤレスマイクのチャンネル番号と同じ数字に設定してください。
(7頁の周波数設定のしかたを参照)

グループ設定スイッチ

使用するワイヤレスマイクのグループ番号と同じ数字に設定してください。
(7頁の周波数設定のしかたを参照)

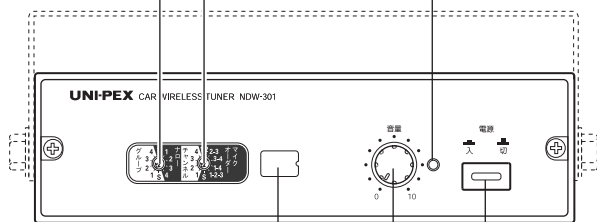
設定用ドライバー(付属品)



周波数設定時に各設定スイッチを合わせる
ときにご使用ください。
(7頁の周波数設定のしかたを参照)

受信表示灯

本機の電源が入りますと赤色に点灯します。
電波受信時は緑色に点灯します。赤色で早く
点滅する場合は、周波数設定が正しく行われて
いないこと(6頁の受信周波数表にないグループ、
チャンネルに設定している)を表しています。
再度、周波数設定をしてください。



電源スイッチ

押しと電源が入り受信表示灯が
点灯します。再び押しと切れます。

チャンネル表示ラベル貼付部

付属のチャンネル表示ラベルより、設定した
グループ番号とチャンネル番号と同じ表示
ラベルを剥がして貼り付けてください。



設定したグループ、
チャンネルと同じ
表示ラベルを貼る

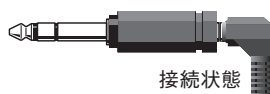
■お願い

- 周波数設定を確認できるよう、必ずチャンネル表示ラベルを貼ってご使用ください。

音量調節つまみ

ワイヤレスマイクの音量を調節してください。

Φ3.5-Φ6.3変換コネクター(付属品)

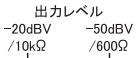


接続する入力ジャックに合わせてご使用
ください。必ず、上図のように、しっかりと
差込んで接続してください。

各部の名称と説明(後面)

出力レベル切換スイッチ

(-20dBV/10kΩ ↔ -50dBV/600Ω)



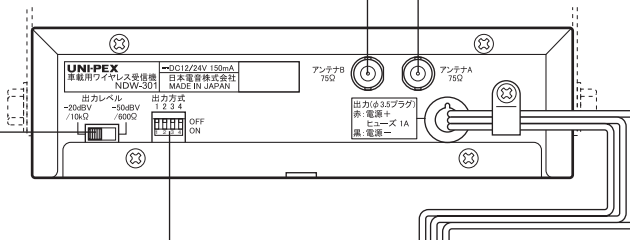
本機の出力プラグを接続するアンプの入力端子に合わせて出力レベルを切り換えてください。接続する機器の入力により、このスイッチと出力方式設定スイッチを設定してください。(6頁の接続アンプ別のスイッチ設定一覧参照)

ワイヤレスアンテナ 接続コネクタ(B)

別売のワイヤレスアンテナ AA-3800Bを接続してください。

ワイヤレスアンテナ 接続コネクタ(A)

別売のワイヤレスアンテナ AA-3800Bを接続してください。



出力方式設定スイッチ



本機の出力プラグを接続するアンプの入力端子の方式(平衡/不平衡, ステレオ/モノラル)に合わせて出力方式を設定してください。(下表参照)

接続する機器の入力により、このスイッチと出力レベル切換スイッチを設定してください。(6頁の接続アンプ別のスイッチ設定一覧参照)

注) 出力方式設定スイッチの設定をまちがえますと大きな音が出たり、または充分な音量が出ない場合があります。本機を接続するアンプの入力端子のレベルと方式を必ず確認して、各スイッチを正しく設定してください。

⊕側電源接続コード(赤)
このコードはバッテリーの⊕端子に接続してください。

ヒューズホルダー

ヒューズを取り換える場合は、必ず規定のヒューズ(1A)と交換してください。

⊖側電源接続コード(黒)

このコードはバッテリー ⊖端子に接続するか、最短距離で自動車の車体にアースしてください。なお、車種により金属部の厚みが薄く、プラスチックを多用しているものがよくあります。車体アースする場合は充分注意してください。














■出力方式設定スイッチの設定

接続アンプの入力方式	平衡 モノラル	不平衡 モノラル	不平衡 ステレオ受け
出力方式 設定スイッチ	 (出荷時の設定)	 (出荷時の設定)	 (出荷時の設定)

出力プラグ(φ3.5)

ミキサーアンプなどのライン入力端子またはマイク入力端子に接続してください。接続する入力端子に合わせて、付属のφ3.5-Φ6.3変換コネクタをご使用ください。

接続アンプ別のスイッチ設定一覧

接続アンプ	マイク入力	予備、ライン入力
NDAシリーズ	■マイク(MIC) 1, 2 600Ω、-52dBV、 不平衡、モノラル 	■予備(AUX) 10kΩ、-22dBV、 平衡、モノラル 
NDSシリーズ	■マイク(MIC) 600Ω、-52dBV、 不平衡、モノラル 	■予備(AUX) 10kΩ、-22dBV、 不平衡、ステレオ受け 
NX-600S	■マイク(MIC) 600Ω、-46dBV、 電子平衡、モノラル 	■予備(AUX) 10kΩ、-22dBV、 不平衡、ステレオ受け 
NTシリーズ  マイク入力[ECM] には接続しないで ください。故障の 原因になります。	■マイク(DYNAMIC) 600Ω、-52dBV、 不平衡、モノラル 	■予備(AUX) 10kΩ、-22dBV、 平衡、モノラル 
NX-9500 NX-R303	■マイク 1, 2, 3 600Ω、-46dBV、 電子平衡、モノラル 	■ライン 10kΩ、-22dBV、 電子平衡、モノラル 
NX-9400 NX-R302	■マイク 1, 2, 3* 600Ω、-46dBV、 不平衡、モノラル *マイク3はNX-9400のみ 	■ライン 10kΩ、-22dBV、 平衡、モノラル 

注) 上表にないアンプに接続する場合は、そのアンプの入力端子のレベルと方式を必ず確認して、各スイッチを設定してください。(5頁の各スイッチの説明をご覧ください。)

300MHz帯ワイヤレスシステムについて

■グループについて

- 同一場所で、マイクを同時に使用する場合は、1グループで1システム単独使用にしてください。(同一場所で2グループ以上の同時使用はできません。)
- ・ グループ1~3の中から1つのグループを選びますと、最大4波まで使用できます。グループ4は1波使用できます。
- ・ 隣り合った場所ではワイヤレスマイクを使用しないでください。
- 受信周波数表に無いグループ/チャンネル番号に設定するとアンテナ受信表示灯が点滅し受信できません。必ず受信周波数表を見て設定してください。

●送信周波数表

周波数 (MHz)	グループ/チャンネル番号			
	グループ 1	グループ 2	グループ 3	グループ 4
322.025			C31	
322.050	C11			
322.075		C21		
322.100	C12			
322.125		C22		
322.150			C32	
322.250	C13			
322.275		C23		
322.300				C41
322.325			C33	
322.350	C14			
322.375		C24		
322.400			C34	

■チャンネル呼称について

例 C 1 3
 ⋮ ⋮ ⋮
 ① ② ③

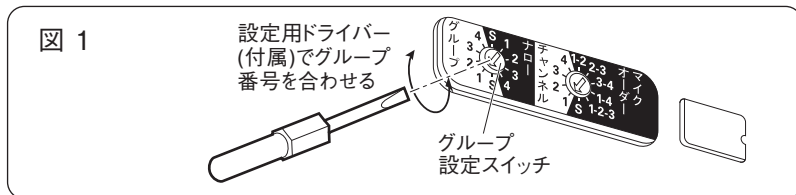
- ① ……300MHz帯を表わす
- ② ……グループ(GROUP)番号を表わす
- ③ ……グループ内のチャンネル(CH)番号を表わす

周波数設定のしかた

- 本機は出荷時にグループ／チャンネル番号を「C11」に設定しています。グループ／チャンネル設定スイッチを切り換える場合は、付属の設定用ドライバーを使用し、スイッチを回転させてください。(図1、2参照)

1. グループ番号を設定する

グループ設定スイッチの矢印を設定したいグループ番号(1/2/3/4)に合わせます。(図1参照)



2. チャンネル番号を設定する

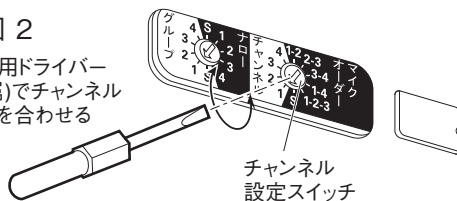
次にチャンネル設定スイッチの矢印を設定したいチャンネル番号に合わせます。(図2参照)

ご注意

受信表示灯が早く点滅する場合は、周波数設定が正しくおこなわれていないこと(6頁の受信周波数表にないグループ、チャンネルに設定している)を表しています。再度、周波数設定をしてください。

図 2

設定用ドライバー(付属)でチャンネル番号を合わせる



ご注意..

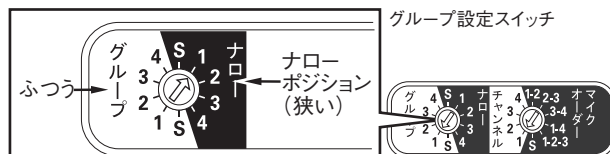
- 受信機とマイクは、同じ周波数(グループ/チャンネル)に設定してください。
- 同時に使用するマイクは、全て同じグループにして、全て違うチャンネルに設定してください。(6頁の受信周波数表を参照)
- 1ヶ所で同時に使用できるチャンネル数は6頁の「300MHz帯ワイヤレスシステムについて」の項を参照してください。

ナローポジションについて

◆グループ設定スイッチを「ナロー」側でグループ番号を設定する場合

- ・本機を使用中に、近隣で使用されるワイヤレスマイクが混信するとき、または混信の恐れがあるときに、受信感度を抑え、混信を防ぐことができます。(図3参照)

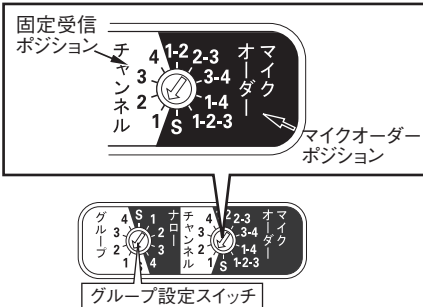
図 3



マイクオーダーについて

- ・本機は1本のマイクに対して専用のチャンネルを固定して受信する設定と、任意の複数チャンネルを選択して受信する「マイクオーダー」の設定が可能です。
(図4参照)

図 4 チャンネル設定スイッチ



◆マイクオーダーのチャンネル組合せ表

グループ設定スイッチ チャンネル設定スイッチ	1	2	3	
マイクオーダー ポジション	1-2	C11 C12	C21 C22	C31 C32
	2-3	C12 C13	C22 C23	C32 C33
	3-4	C13 C14	C23 C24	C33 C34
	1-4	C11 C14	C21 C24	C31 C34
	1-2-3	C11 C12 C13	C21 C22 C23	C31 C32 C33
S	C11 C12 C13 C14	C21 C22 C23 C24	C31 C32 C33 C34	

◆「マイクオーダーポジション」とは？

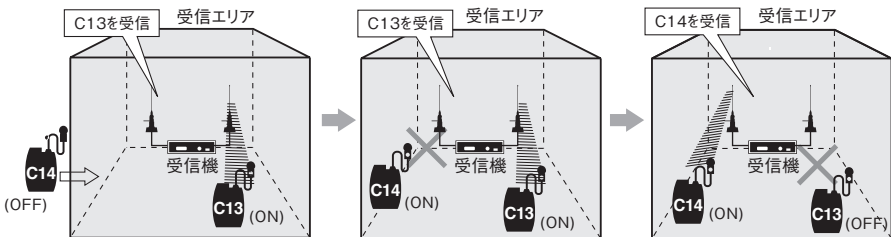
- ・チャンネル設定スイッチをマイクオーダーポジションに設定しますと、グループ内の複数(2~4)チャンネルのワイヤレスマイクを受信することができます。
- ・最大4チャンネルの受信が可能です。最初に使用(電源スイッチ「ON」)したワイヤレスマイクのチャンネルを優先し、受信します。(図5参照)
- ・受信中マイクの使用が終わり(電源スイッチ「OFF」)次第、設定されたチャンネルのマイクが受信可能になります。(図5参照)
- ・受信可能なチャンネルの組み合わせは上記のマイクオーダーのチャンネル組合せ表をご覧ください。またグループの設定は「1 / 2 / 3」のいずれかに設定してください。「4 / S」には設定しないでください。

マイクオーダー運用例

図 5



- ・グループスイッチの設定………1
(または2, 3 のいずれか)
- ・チャンネルスイッチの設定………3-4
(または1-2, 2-3, 1-4, 1-2-3, Sのいずれか)



① ワイヤレスマイク(C13)を受信中

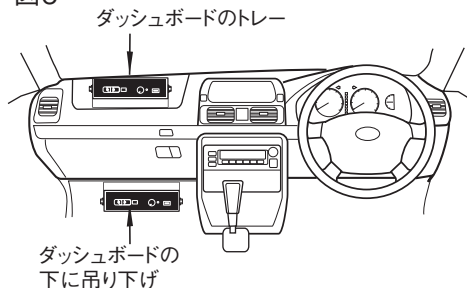
② ワイヤレスマイク(C13)を受信中
ワイヤレスマイク(C14)は使用不可

③ ワイヤレスマイク(C13)は使用終了
ワイヤレスマイク(C14)を使用すると受信開始

取付方法

- 本機の取付箇所は車種によって異なりますが、図6のように付属のコの字形金具を利用してダッシュボードのトレーや下部に取り付けてご使用ください。(図6、7参照)

図6



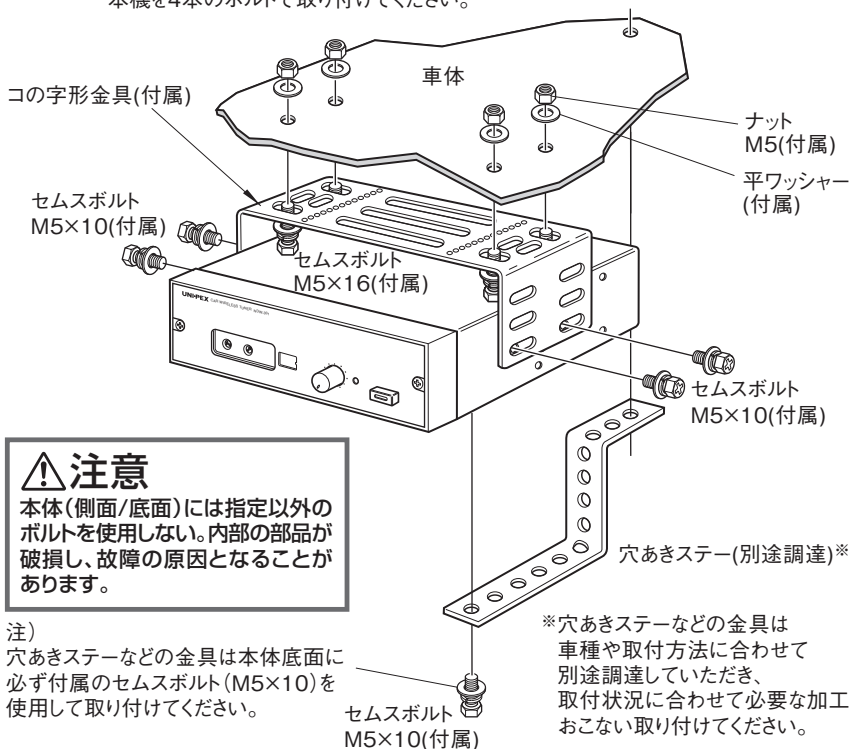
注) 車種により取り付けられない場合があります。

警告 エアバッグ装着車はエアバッグの装着箇所やその付近に配線しない、取り付けない。エアバッグの作動不良による事故や、けがの原因になります。

運転の視界や操作を妨げる場所に取り付けない。運転視界を妨げる場所やブレーキペダル付近などに取付、配線すると交通事故の原因となります。

図7

コの字形金具(付属)を車体に固定してから、本機を4本のボルトで取り付けてください。



注意

本体(側面/底面)には指定以外のボルトを使用しない。内部の部品が破損し、故障の原因となることがあります。

注) 穴あきステーなどの金具は本体底面に必ず付属のセムスボルト(M5×10)を使用して取り付けてください。

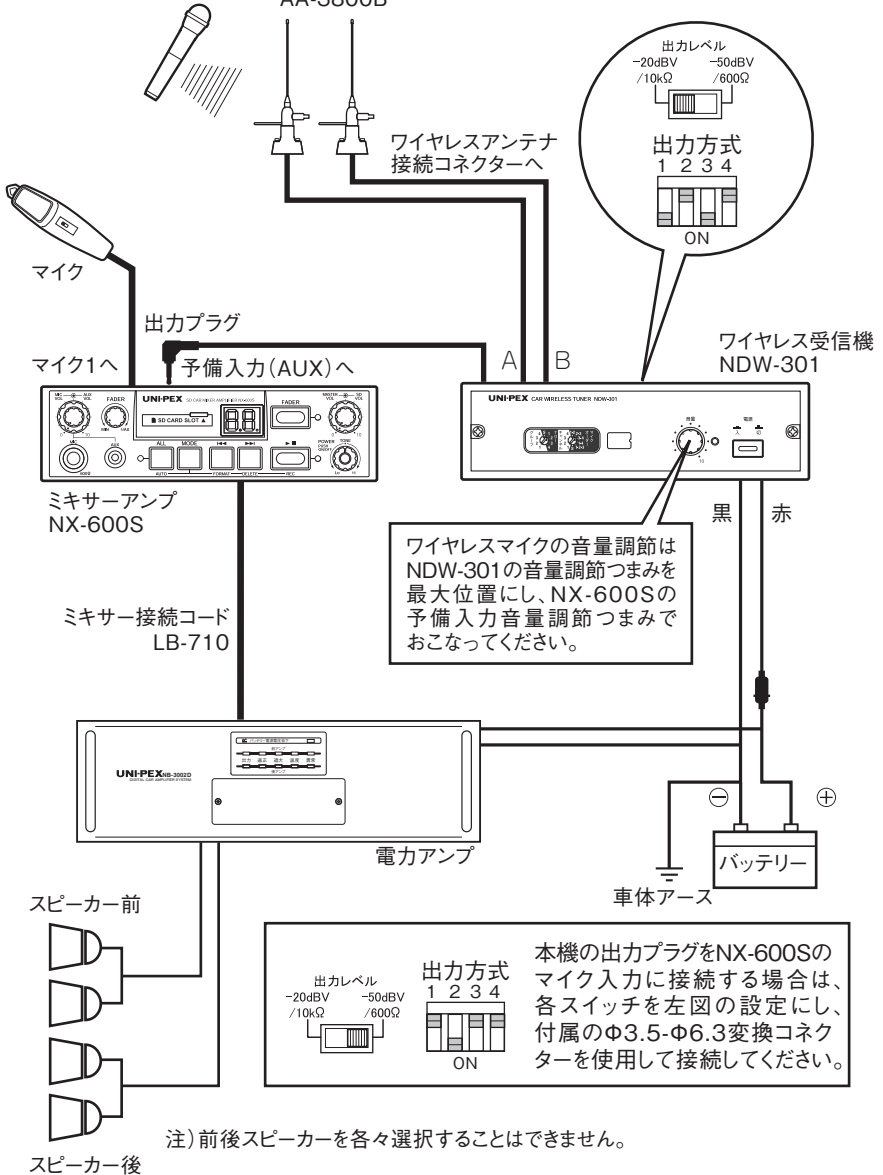
*穴あきステーなどの金具は車種や取付方法に合わせて別途調達していただき、取付状況に合わせて必要な加工をおこない取り付けてください。

相互接続図(例)

図8

ワイヤレスマイク
WM-3000シリーズ

ワイヤレスアンテナ
AA-3800B



ワイヤレスマイクの使い方

- ワイヤレスマイクは、本機に組み込まれたチューナーユニットと同じチャンネルのものをお使いください。ただし同一送信周波数のワイヤレスマイクを同時に2本以上使用することはできません。
- 雑音が入る場合は、ワイヤレスマイクをアンテナに近づけてご使用ください。そのときの距離を2m～10mにしてください。なお、2m以内に近付くと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信などが発生することがあります。
- 使用するワイヤレスマイクの取扱説明書もよくお読みください。

アンテナ設置上のご注意

- 本機には、別売の車載用ワイヤレスアンテナAA-3800Bを2本接続してください。
- 本機に接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。その場合はアンテナと機器との距離を離して設置してください。
- 使用するワイヤレスアンテナの取扱説明書もよくお読みください。

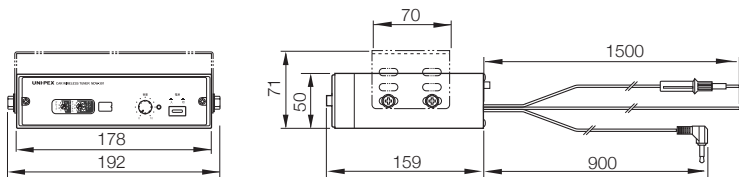
携帯電話の使用について

- 本機の近傍で携帯電話を使用しますと、雑音発生の原因になります。本機使用中に携帯電話を使用する場合は充分にご注意ください。

定格

使用電源	DC 10V～32V(標準14V/28V) 12V/24Vバッテリー マイナスアース専用
消費電流	150mA以下
定格出力	-20dBV 10kΩ 平衡 / -50dBV 600Ω 平衡(切換式)
受信周波数	322.025MHz～322.150MHz、322.250MHz～322.400MHz (25 kHz間隔 13波)
受信方式	PLL制御スーパーヘテロダイン方式
周波数特性	100Hz～7kHz(1kHz基準 50μsエンファシス)
ひずみ率	3%以下
アンテナ入力	BNCコネクタ×2
動作表示	チューナー受信表示：発光ダイオード(待機時/赤)(受信時/緑)
使用温度範囲	-10℃～+50℃
外装	パネル:ABS樹脂 マンセルN1 近似色 ブラック ケース:ビニール鋼板 マンセルN1 近似色 ブラック
外形寸法	幅178mm 高さ50mm 奥行159mm(コネクタ部含まず)
質量	約1.1kg
付帯機能	設定の切り換えで出力を平衡/不平衡、ステレオ受け対応に変更可能
付属品	取扱説明書(保証書付) 1、φ3.5-φ6.3変換コネクタ 1、設定用ドライバー 1、チャンネル表示ラベル 1、コの字形取付金具 1、ナット(M5) 4、セムスボルト(M5×10) 5、セムスボルト(M5×16) 4、平ワッシャー(M5用) 4、ヒューズ(1A) 1
適合品	車載用ワイヤレスアンテナAA-3800B

外觀寸法図 (単位: mm)



サポートのご案内

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

- ①品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④故障の状況 (できるだけ具体的にお願いします)

■ 販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

営業所情報はホームページもしくはQRコードにアクセスしてください。
<http://www.unipex.co.jp>



■ その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。

UNI-PEX お客様ご相談センター

0120-56-5245 (通話料無料)

受付時間/9:00~17:00 (土・日・祝日除く)

PHS・携帯電話からのご利用は、

072-855-3334 (通話料がかかります)

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

ワイヤレス受信機 NDW-301 保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年 月 日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前 見本 様
	ご住所 〒 電話() -
販売店	店名・住所 電話() - 印

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(This warranty is valid only in Japan)

無料修理保証の範囲

- ①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
- ②修理の際は必ず保証書の提示があること。
- ③当保証書の所定項目に必要な事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

(次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。)

- ①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
- ②不当な修理改造による故障、損傷。
- ③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
- ④お買い上げ後の落下、傷など、お取り扱い上起因するもの。
- ⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
- ⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
- ⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 **日本電音株式会社**

発売元 **ユニペックス株式会社**

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6 TEL.(072)855-3334(代)